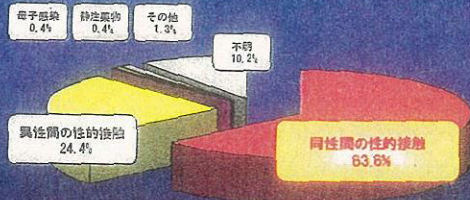
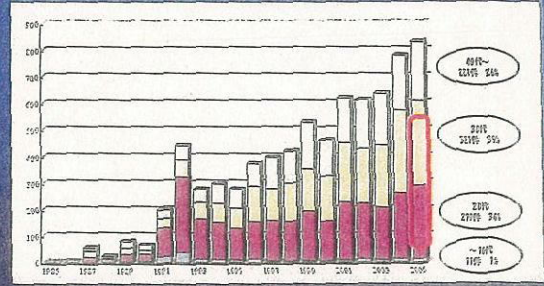


感染経路別新規HIV感染者数(2005)

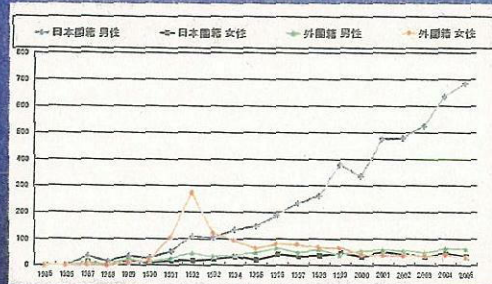


年齢別、年次別HIV感染者報告数の推移



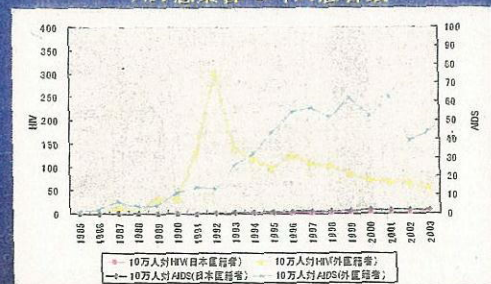
2005年エイズ動向委員会報告

日本のHIV感染者の国籍別・性別年次報告数



(出典) 先進国におけるエイズ発生動向、調査体制、対策の分析に関する研究
UCLA 感染症学研究所(エイズ)・WHO 日本代表 藤島邦夫(慶応義塾大学)

日本の人口10万人に対する国籍別 HIV感染者・エイズ患者数



(出典) 先進国におけるエイズ発生動向、調査体制、対策の分析に関する研究
UCLA 感染症学研究所(エイズ)・WHO 日本代表 藤島邦夫(慶応義塾大学)

エイズ予防指針の見直し

基本的方向

- 1 疾病概念の変化に対応した施策展開
~「不治の特別な病」から「コントロール可能な一般的な病」へ
- 2 国と地方公共団体との役割分担の明確化
・国: リーダーシップ、技術的支援
・地方公共団体: 普及啓発、検査、医療体制の再構築
- 3 施策の重点化
~普及啓発及び教育、検査体制の強化、
医療提供体制の再構築